

製品名: NR2C2 / TR4 (9S17) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14876**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IP 1:10-1:100
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	NR2C2 hTAK1; Nr2c2; Nuclear hormone receptor TR4; Nuclear receptor subfamily 2 group C
別名	member 2; Orphan nuclear receptor TAK1; Orphan nuclear receptor TR4; TAK1; Testicular nuclear receptor 4; Testicular receptor 4; TR2R1; TR4; TR4 nuclear hormone receptor;
遺伝子 ID	7182.0
SwissProt ID	P49116
免疫原	ヒト NR2C2 の合成ペプチド

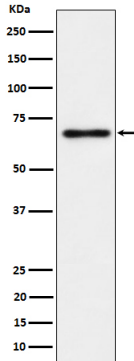
背景

転写の抑制因子または活性化因子として機能することができる孤立した核内受容体。レチノイン酸受容体、レチノイド X、ビタミン D3 受容体、甲状腺ホルモン受容体、エストロゲン受容体などの核内受容体シグナル伝達経路の重要な抑制因子です。精子形成後期における遺伝子発現を制御する可能性があります。転写の抑制因子または活性化因子として機能することができる孤立した核内受容体。レチノイン酸受容体、レチノイド X、ビタミン D3 受容体、甲状腺ホルモン受容体、エストロゲン受容体などの核内受容体シグナル伝達経路の重要な抑制因子です。精子形成後期における遺伝子発現を制御する可能性があります。NR2C1 とともに、GATA1 の転写を含む胚および胎児グロビン転写を抑制する DRED (direct repeat erythroid-definitive) 複合体の中核を形成します。2つの 5'-AGGTCA-3'ハーフサイトダイレクトリピートコンセンサス配列からなるホルモン応答エレメント (HRE) に結合します。初期胚発生および胚性幹細胞において重要な役割を果たします。正常な精子形成および小脳の発達に必須です。神経発達によって制御される行動にも重要であると考えられます (類似性に基づく)。LHCG の転写活性を活性化します。PPARA を介した転写活性化の拮抗薬です。

研究分野

-

画像データ



PC-3 細胞溶解物中の NR2C2/TR4 発現のウェスタン ブロット解析。